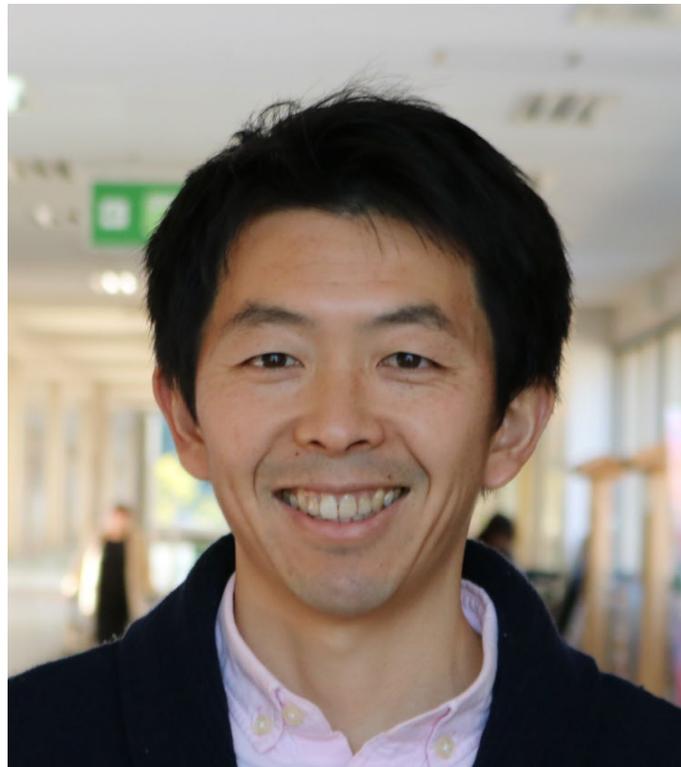


地域人材ネット

四国，小豆島における食を通じた地域活性の取り組み

真鍋邦大 (まなべくにひろ)

株式会社四国食べる通信 代表取締役／博士(農学)



○ 登録者情報

所在地

香川県高松市

略歴

<学歴>

2003年3月 東京大学経済学部経済学科 卒業

2005年3月 東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境学専攻 国際環境協力コース 修士課程 修了

2019年3月 神戸大学大学院農学研究科 食料共生システム学専攻 食料環境経済学講座 博士後期課程 満期単位取得退学

<職歴>

2005年4月 リーマン・ブラザーズ証券株式会社 債券トレーディング本部

2009年2月 Fort Myers Miracle (大リーグMinnesota Twins傘下:インターンシップ)

2009年5月 Bluefield Orioles (大リーグBaltimore Orioles傘下:インターンシップ)

2010年2月 ロイヤルバンク・オブ・スコットランド東京支店 国内債券営業本部

2012年2月 株式会社459 (香川県小豆島町) 創業 代表取締役 (継続中)

2014年6月 株式会社四国食べる通信 (香川県高松市) 創業 代表取締役 (継続中)

2016年4月 神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ コーディネーター

2019年4月 株式会社ワールド・ワン 取締役 (継続中)

<各種委員>

2013年10月 公益財団法人香川県国際交流協会運営委員会委員

2014年4月 内閣府 地域活性化伝道師 (2016年3月まで)

2014年11月 高松創造都市推進懇談会委員

2015年9月 第6次高松市総合計画審議会委員

2015年9月 たかまつ創生総合戦略懇談会委員

<賞罰>

2013年3月 高松人間力大賞2013 グランプリ受賞

2015年2月 かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2014 優秀賞受賞

著書・論文等

『産直ビジネスにおけるプラットフォーム化の動きとその設計』, 環境情報科学学術研究論文集, 32, 95-100.

『産地と外食企業の連携による飲食店事業の展開と課題』, 農村計画学会誌, 37(論文特集号), 176-182.

『地域連携による飲食店事業の展開と課題解決—神戸市W社と土佐清水市の連携を事例として—』, 農林業問題研究, 54(3), 149-156.

『「食べる通信」の運営実態と展開要因: 生産者と消費者を繋ぐ新たなプラットフォームの可能性』, 農村計画学会誌, 36(論文特集号), 258-263.

〇 四国, 小豆島における食を通じた地域活性の取り組み

取組の内容

複数の外資系金融機関での勤務を経て2012年に小豆島に移住し、地域おこしの会社である(株)459を創業しました。(株)459では、瀬戸内海の島々の素材をポン菓子にする『シマボン』や、小豆島の手作り産品をポストカード型のギフトに束ねた『小豆島のギフト』など、地域資源を活用したローカルビジネスの開発を手掛けました。また、地域おこし協力隊としても活動し、島の中学3年生向けに『島の寺子屋教室』を実施、14年夏には『ポンカフェ』をオープンし過疎集落に交流の場を提供しました。その後、14年5月には編集長として食材付き情報誌の「四国食べる通信」を創刊。つくる人の想いや風景と食材を共に届けることで、四国の生産者と都会の消費者をつなぐ新たなビジネスに取り組みました。「四国食べる通信」は、かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2014優秀賞受賞しました。



小豆島で島の寺子屋教室を開催している様子



四国食べる通信編集長として
香川県粟島の牡蠣漁師さん取材している様子

実績

『島の寺子屋教室』は、3年間で35回実施し、約180名の都会の若者を小豆島に招き入れました。結果、2名が移住しました。

『四国食べる通信』は、創刊から約1年で、全国に500名の購読者を集める成長を見せました。

工夫した点や苦労した点

全ての活動においてテーマとしていたことは、「これまでにあるモノを、これまでにないかたちで伝え、シマとマチとトカイをつなぐ」ことです。視点を変え、見せ方を変えることで、価値化されていない地域資源を価値化し、人的交流と経済循環につなげるように努めました。

ひとことPR

都会での社会人経験、地域での起業家としての実務経験、コーディネーターとして産学官の連携に取り組んだ経験、研究者としての学術的なバックグラウンドなど、食農分野に関して多方面からの経験と知識の蓄積を持つことが強みの一つです。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
○ 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

株式会社四国食べる通信	https://www.facebook.com/shikoku.taberutsushin/

連絡先

メールアドレス	kunihiro.manabe〔アットマーク〕gmail.com		
---------	----------------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。